

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単位	21単位
科目コード 000230	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)： 門井 緑	共同担当者： 大津 公幸
----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課題作品の制作を通してアパレル生産プロセス（企画・設計・生産）を学ばせる 作品、パターンメイキング、縫製技術を高めるとともにデザイン、素材、ファッショントレンドなども取り入れ総合的に修得させる 立体裁断と平面裁断を併用したパターン技術の習得をさせる 3年間で学んだ理論と実技の集大成として作品を研究創作させ、卒業制作ショーで発表する
--

<p><授業概要></p>			
服装造形 論 III A	4単位	(000230)	
服装造形 デザイン III	2単位	(000330)	
服装造形 パターンメイキング III	4単位	(000530)	
服装造形 ソーイング III	4単位	(000630)	
服装造形 ドレーピング II	4単位	(000820)	
服装造形 工業用パターンメイキング II	3単位	(000920)	
1 皮革作品	42コマ		デザイン・パターン・実物制作・レポート
2 スーツ	44コマ		デザイン・パターン・実物制作・レポート
3 グレーディング	8コマ		ジャケット・パンツ
4 バザー作品	14コマ		デザイン・パターン・トワル制作（グループ制作）
5 コート	52コマ		デザイン・パターン・部分縫い・実物制作・レポート
7 高級素材作品	10コマ		デザイン・パターン・部分縫い・実物制作・レポート
8 学内コンテスト技術部門課題制作	36コマ		トワル作品制作
9 モードコピー	20コマ		トワル制作
10 ドレーピング	42コマ		原型・袖のバリエーション・3面ジャケット・4面ジャケット・コート ドレープ（使用ボディ：工業用ボディ・文化ボディ）

<p>評価方法・対象・比重</p> <ul style="list-style-type: none"> 服装造形 論・・・筆記試験（100%） デザイン、パターンメイキング、ソーイング・・・制作物（課題90%、授業態度10%） ドレーピング・・・提出物、実技試験（試験60%、課題30%、授業態度10%） 工業用パターンメイキング・・・（課題90%、授業態度10%） 専攻科卒業研究・創作・・・制作物（100%）
--

<p>主要教材図書 服飾造形講座 応用編Ⅰ・Ⅱ コート・ケープ グレーディング アパレル生産講座 工業パターンメイキング</p> <p>参考図書 ファッションブック</p> <p>その他資料 プリント（デザイン・作図）</p>

<p>記載者書名欄 門井 緑</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科名	服飾専攻科 技術専攻	単位	2単位
科目コード	005720	科目名	量産技術実習 II	授業期間	後期(集中)

担当教員(代表) : 上野 和博	共同担当者 : 宮澤国博 井戸川倫也 加藤紀人
------------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など

アパレル生産プロセスに基づき、企画した製品が生産されるまでの組織的な生産活動を体験することを目標とする。

グループを会社組織として分業体制で設立し、品質(Q)・コスト(C)・納期(D)を実現させながら、メーカー側の製品企画・工場側の製造企画に始まり、生産活動を通して「モノ」「情報」の流れを掴む。また、前期の履修した「生産システム論」の内容を踏まえ、「モノづくり」のための「コトづくり」の重要性を認識させる。

<授業概要>

I. 顔合わせ (1コマ)

- ① 担当教員紹介
- ② タイムテーブルの確認
- ③ デザイン、仕様、トワル、パターンチェック

II. 生産用パターン作成 (1コマ)

- ① フルパターン作成(表・裏・芯・スレキ)
- ② ゲージパターン作成

III. サンプル裁断 (1コマ)

- ① サンプル見積もりマーキング
- ② サンプル裁断(自動裁断機使用)

IV. サンプル縫製 (5コマ)

- ① 役割毎にサンプルを縫製
- ② サンプルの確認および検査(検査基準書作成)

V. 帳票類作成 (1コマ)

- ① 工程分析表、縫製仕様書、加工裁断芯貼り指図書、作業標準書、表紙作成
- ② 作業割り当て、座席表作成

VI. マーキング実習 (1コマ)

- ① CADを使用したマーキング実習(東レ Crea Compo使用)
- ② 最終の見積もりを算出
- ③ 裁断用下紙準備

VII. 裁断実習 (2コマ)

- ① 裁断実習(自動裁断機使用)
- ② 芯貼り、仕分け、縫製準備(仕掛品作成)

VIII. ミーティング (1コマ)

- ① 帳票類を読み合わせ、縫製前の打ち合わせをおこなう

IX. 縫製 (14コマ)

- ① 帳票類に基づき学生主導による生産をおこなう
- ② 縫製技術や検査方法、進捗の指導

X. まとめ (2コマ)

- ① 製品検査
- ② お直し

評価方法・対象・比重

組織活動での貢献度(50%) + 出欠席(50%)

主要教材図書

参考図書

その他資料 重衣料マニュアル(研究室用)

記載者書名欄 上野 和博

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科名	服飾専攻科 技術専攻	単位	1単位
科目コード	401000	科目名	生産システム論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 加藤 紀人	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アパレルメーカーから生産工場までの全体の流れを捉えると共に、生産活動に必要な事柄について学ぶことを目標とする。企画から製造にいたるプロセスで様々な個々の技術が全体の目的に貢献できるよう、工程・方法・時間・人などが関連性を持ちながら、生産効率の向上が図れる仕組みづくりを掴む。また「量産技術実習Ⅱ」につながる情報の基盤づくりをする。

授業概要

I. ガイダンス (1コマ)

II. 生産用パターン (2コマ)

①仕様・機器に対応した変更

②表地、裏地、芯地、ゲージ類について

III. アパレル商品企画 (2コマ)

①品質レベルの設定

②品質のつくり込み (作業標準書)

IV. 生産計画 (5コマ)

①日程計画 (タイムテーブル、標準時間の算出)

②人員計画 (作業割り当て)

③ライン計画 (工程編成)

④材料計画 (日程、数量、コスト、品質)

V. アパレル製品と原価 (1コマ)

①原価の三要素 (材料費、労務費、経費) のあらし

②損益分岐点と目標利益

③目標生産量の算出

VI. アパレル品質管理 (2コマ)

①製造中の検査方法 (検査箇所)

②製造後の検査方法 (外観検査)

③ PL 法対策

評価方法・対象・比重

筆記試験 (60%) + 提出物 (20%) + 出席率 (20%)

主要教材図書

「文化ファッション大系 アパレル生産講座⑦ アパレル生産管理」「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料 私製プリント

記載者書名欄 加藤紀人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	2 単位
科目コード` 402010	科目名 CADパターンメイキングⅠ	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 高津 由規子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレル業界の企画【設計】において必須であるCADシステムを利用し、基本を学びながら
 考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作が出来るようになる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	オリジナルパターン4 パターン利用の製品図
2	基礎パターンメイキングVer. 1-1 基本操作	17	オリジナルパターン5 マーキング方法
3	基礎パターンメイキングVer. 1-2スカート展開	18	オリジナルパターン6 縫製仕様書
4	基礎パターンメイキングVer. 1-3 スカート展開	19	応用パターンメイキングVer. 4-1 ジャケット衿
5	基礎パターンメイキングVer. 1-4 用途別縫い代	20	応用パターンメイキングVer. 4-2 ジャケット裏地
6	応用パターンメイキングVer. 1-1パンツ	21	応用パターンメイキングVer. 4-3 ジャケット裏地
7	応用パターンメイキングVer. 1-2ワンピース	22	応用パターンメイキングVer. 4-4 製品図
8	応用パターンメイキングVer. 1-3ワンピース	23	応用パターンメイキングVer. 4-5 縫製仕様書
9	応用パターンメイキングVer. 2-1 製品図	24	応用パターンメイキングVer. 5-1 プリーツ
10	応用パターンメイキングVer. 2-2 製品図・部品図	25	応用パターンメイキングVer. 5-2 製品図
11	応用パターンメイキングVer. 2-3 縫製仕様書	26	グレーディング方法・仕方 考え方
12	基礎パターンメイキングVer. 2 パターン入力	27	実技試験対策
13	オリジナルパターン1 パターン入力	28	実技試験
14	オリジナルパターン2 トレース	29	
15	オリジナルパターン3 修正～完成	30	

評価方法・対象・比重
 評価基準 学業評価50% 授業姿勢50%
 前期はテストを行わず、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価
 後期は実技テストを行うと共に、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

主要教材図書 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑥ CADパターンメイキング 文化服装学院編
参考図書 特になし
その他資料 特になし

記載者氏名 高津 由規子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単位	1単位
科目コード 400600	科目名 西洋服装史特論	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表) : 菊田 琢也	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 近現代のファッションがどのような思想、社会状況、隣接する文化領域との関連のなかで発展し、歴史を紡いでいったのかについて考察する。その際に、衣服制作を支える裁断・縫製・素材といった技術の発達史および産業史にも留意する。また、各回ごとに現在のファッション現象と照合して見ていくことを通じて、歴史が現在と地続きであることへの気付きを促し、現状と今後について考える手段と姿勢を養う。

コマ	内容	コマ	内容
1	イントロダクション: 歴史を学ぶとは	16	
2	オートクチュールの成立: シャルル・フレデリック・ウォルトのデザイン	17	
3	身体動作と衣服のかたち: コルセットと身体管理	18	
4	機能と装飾: シャネルと近代デザイン	19	
5	芸術とファッションの交流: エルザ・スキヤパレリとシュルレアリスム	20	
6	ファッションと流行: 1950年代のオートクチュール	21	
7	ストリートスタイルと既製服: スペース・エイジとスウィング・ロンドン	22	
8	身体の規格化: 既製服デザインとは何か	23	
9	路上からランウェイへ: ヴィヴィアン・ウエストウードの仕事	24	
10	ファッションとオリエンタリズム: 三宅一生、山本耀司、川久保玲	25	
11	ファッションとジェンダー: ジャン=ポール・ゴルチエやマドンナを事例に	26	
12	身体成形としてのファッション: 1990年代の身体観を探る	27	
13	ファッションとグローバリゼーション: コンゴロマリットとクリエティブ・ディレクター	28	
14	まとめ: ポストインターネット時代のファッション	29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書
 毎回、プリントを配布する。

参考図書 文化服装学院編『服飾関連専門講座⑩ 改訂版・西洋服装史(文化ファッション体系)』文化出版局 2012、成実弘至『20世紀ファッションの文化史』河出書房新社 2007、ブリュノ・デュ・ロゼル(西村愛子訳)『20世紀モード史』平凡社 1995 他

その他資料

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科名	服飾専攻科 技術専攻	単位	1単位
科目コード	200210	科目名	アパレル染色演習 I	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表):	伊藤 望	共同担当者:	吉村 とも子
-----------	------	--------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 染色に関する基礎的な知識と技法を、各種の実験・実習を通して得ることにより、アパレルに応用展開できる能力を養う。
 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

1. ガイダンスおよび染色概論 ・ 授業内容について ・ 主な染料の種類と特徴 ・ 染料と繊維の染色適性 ・ 染料と繊維の結合と染着過程	(1コマ)	(講義)
2. 酸性染料による原毛染色 ・ 酸性染料の特徴 ・ 羊毛の酸性染料による浸染法	(1コマ)	(実習)
3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作 ・ 羊毛の縮絨性 ・ 羊毛のフェルト制作方法	(2コマ)	(講義・実習)
4. 顔料樹脂染料による型紙捺染 ・ 型紙捺染の仕組みと捺染の種類と版式 ・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・ 型紙制作と印捺、仕上げ方法 ・ 特殊プリント加工	(3コマ)	(講義・実習)
5. デニム生地 of 抜染 ・ プリントによる抜染の仕組み ・ 抜染プリントの特徴	(1コマ)	(講義・実習)
6. オパール加工 ・ オパール加工の仕組みと適性繊維 ・ オパール糊の印捺方法とベーキング方法	(1コマ)	(講義・実習)
7. マーブル染め ・ マーブルインクによるマーブル染めの方法 ・ 台液に水を使用する方法と台液に糊を使用する方法	(1コマ)	(講義・実習)
8. 乾式転写プリント ・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み ・ 手描き図案による転写方法	(1コマ)	(講義・実習)
9. 直接染料による絞り染め ・ 直接染料の特徴 ・ 絞り染めによる防染の仕組み ・ 絞り技法と染色法	(3コマ)	(講義・実習)

評価方法・対象・比重 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 伊藤 望

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単位	1単位
科目コード 604100	科目名 テキスタイル産業論	授業期間	後期

担当教員(代表)：野沢 彰	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレル製品の主な材料であるテキスタイルを、編織の技法や工夫、染色加工、特殊加工など生産の観点から理解させる。また、工場、産地、見本市などのテキスタイル産業とアパレルが実際にどのように関わり、製品が作られて行くかを学ぶ。

テキスタイル産業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)

- ・業種と内容(講義)
- ・アパレルとの関わり(講義)

テキスタイル産地と見本市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

テキスタイル生産について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

- ・構造～織物とニット～(講義・実習・見学)
- ・デザイン～染色～(講義)
- ・布地と糸の関係(講義)

織物工場見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)

- ・文化ファッションテキスタイル研究所見学

評価方法・対象・比重
 学業評価80% 授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書
 文化ファッション大系服飾関連講座①「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック・アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 野沢 彰

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード` 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数＝7
 アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ブランドとは、その定義
- ・VMDの必要性和SKU算出法の解説と実践
- ・カセット企画とは
- ・MDマップの意味と作成方法
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・アパレルブランド構築の方法論

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数＝7
 マーケットで「売るため」のブランド企画のシミュレーション
 各グループで既存のブランドの企画を企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重
 出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書
 レジュメ使用

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単位	1単位
科目コード 303000	科目名 選択科目 帽子	授業期間	前期 (A週)

担当教員(代表) : 窪田 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定)
 帽子の一般知識を習得する。夏物帽体・冬物帽体の2作品を製作する。
 専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を学ぶ。
 トータルコーディネートとしての効果を意識した作品作りを指導。

I オリエンテーション 講義 [2コマ]
 ・帽子の形の種類、素材、木型、用具など専門性の説明

II 実物製作 2作品

(1)夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・夏物帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導

(2)冬物帽体 (フェルト帽体) の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・帽子用のフェルト帽体 (ファーフェルト) による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導

評価方法・対象・比重 作品 : 授業姿勢 80% : 20%

主要教材図書 文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編
参考図書 各種帽子写真集など
その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード` 300900	科目名 選択科目 アクセサリー	授業期間	後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイデア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 2. アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 3. アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて 4. アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて 5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ シルバー粘土、リング制作実習 6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 7. シルバー粘土リング制作実習 作品について仕上げ・説明

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

<p>主要教材図書</p>

<p>参考図書</p>

<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード 500830	科目名 選択科目 ファッションデザイン画 III	授業期間	前期

担当教員(代表) : 金谷 容子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のテーマを設け、オリジナルデザインの重要性を身につける。

発想力・イメージデザインの豊かさ、具体的に衣服の構造を明確に伝える両面性を強化することを目標とする。

1. オリジナルデザイン画
ブランド名とアイテム図【3コマ】
2. コラージュ・フロッタージュ(切り抜き・加筆手法を取り入れたデザイン方法)【3コマ】
3. 布地の動き(風合い・プリーツ・ギャザー加工からの発想)【3コマ】
4. デザイナー研究(注目するデザイナーの代表作品からの発想表現)【3コマ】
5. デザイン発想(装飾模様や文字数字を取り入れた表現法)【2コマ】

評価方法・対象・比重

① S~C・F評価

評価基準: 学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画・補助プリント

参考図書 ファッション雑誌など

その他資料

記載者氏名 金谷 容子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	2単位
科目コード` 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 門井 緑	共同担当者 : 大津 公幸
-----------------	---------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服飾関連の幅広い分野から専門家による講義とテクニックの技法示範を受講し、各自の知識を広げ技術を向上させる ・職業としての職域を意識する動機づけすることで、内定へと促進する

1、皮革の一般知識 (村松 弘康 氏)	講義・・・1コマ
皮革の名称と特徴	
2、キャリア支援 (佐々木 徹 氏)	講義・・・4コマ
3、衣料用皮革の概要 (柴田 優 氏)	講義・・・1コマ
仕事内容・実務の解説	
4、アパレルメーカーに於ける	
パターンメーカーの役割 (伊藤 智之 氏)	講義・示範・・・4コマ
パターン操作と実技指導	
企業でのパターンメーカーの仕事について	
アイロン操作によるくせとり、立体感の出し方を示範説明	
二枚袖の考え方	
5、イタリアに於ける縫製技術 (牧 勝則 氏)	講義・示範・・・3コマ
毛芯仕立てのジャケットの縫製テクニックを示範説明	
6、就職実践対策 (佐古 かがり 氏)	講義・・・2コマ
ユニフォームウェアを通し職種幅を広げる	
7、ファッション情報 (講師検討中)	講義・・・1コマ
トレンド解説・パリ・ミラノ・東京	
8、立体裁断による身頃つづきの袖 (樋口 吉徳 氏)	講義・示範・・・2コマ
立体と平面の併用パターンテクニック	
9、パタンナーの役割	講義・・・1コマ
企業におけるパタンナーの仕事	
10、工業ニット (田才 由美子 氏)	講義・実習・・・3コマ
ニット機器の操作法、Tシャツ制作	
11、毛皮の一般知識 (梨本 チエ子 氏)	講義・示範・・・2コマ
毛皮の種類、良否の見分け方など豊富な原毛に触れ、作品制作の導入とする	
毛皮のくせとり、縫製テクニックを示範説明	
12、ファッションデザイナーの役割 (神田 恵介 氏)	講義・・・2コマ
ファッションについての考え方	
13、ファッション情報 (講師検討中)	講義・・・1コマ
トレンド情報・パリ・ミラノ・東京	

評価方法・対象・比重	
出席状況（100%）	
主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし
記載者書名欄 門井 緑	

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11823	科名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	5単位
科目コード` 971000	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表): 門井 緑	共同担当者: 大津 公幸
----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間で学んだ理論と技術の集大成としての作品を研究創作させる ・実物製作を通して研究する力を養い、卒業制作ショーで発表する

<p>授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>■卒業制作【実物製作】講義・示範・実習 . . . 70コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の理論と技術（ドレーピング、パターンメイキング、縫製法）を駆使し、専攻科として集大成となる作品を研究・創作 ・企画、演出、照明、音効、舞台、会場等の役割を分担し、卒業制作ショーに構成して発表 <p>デザイン . . . 各自発想のデザイン（技術専攻科に相応しい）でアイテムは自由</p> <p>素 材 . . . 自由とするが、技術専攻科に相応しい布地</p> <p>縫 製 . . . 各自のデザイン、布地に合わせた縫製法</p> <p>レポート . . . 3年間の集大成として、研究的にまとめる</p> <p>※各自のデザインで1体以上を実物製作し、レポートを書く</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>実物作品（実物製作のデザイン、パターンメイキング、縫製、レポート）・・制作物（100%）</p>

<p>主要教材図書 文化ファッション体系 服飾造形講座 応用編Ⅰ・Ⅱ</p> <p>参考図書 ファッションブック</p> <p>その他資料 プリント（デザイン・作図）</p>

<p>記載者書名欄 門井 緑</p>
